

ごあいさつ

わらべ館 館長 国森 洋

今年も「万遊鏡 第15号」を発行させていただくこととなりました。発行に際しご協力いただきました資料収集委員会の皆様はじめ関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

「わらべ館」は、平成7年7月7日の開館から今年で25周年を迎えます。昨年3月には開館から300万人の来館を達成したところです。

この間、ほんとうに多くの皆様に支えていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、「わらべ館」では、毎年お正月に、その年の「干支」を展示しています。令和2年は「子年」で、十二支最初の年です。今回は、日本各地の「子」を展示し、土人形や張子、木地などの素材の違いや、特徴ある造形などを楽しんでいただきました。

また、1階エントランスでは、昭和30年代後半からの郷土玩具収集ブームに集められ、当館に寄贈された郷土玩具を展示し、ご当地感あふれる作品を紹介しました。

こうした展示をつうじて、郷土玩具のもつ、歴史や成り立ちを紹介するほか、玩具から学ぶこと、楽しむことを伝えることができたと感じております。

また、新たに「おもちゃからくりショー」や「ボードゲーム」、「昔あそび」など、子供たちがおもちゃに触れ、考える機会を創り出すことを目的にした、体験型のプログラムにも取り組みを広げています。

この度発行する「万遊鏡 第15号」では、収蔵資料を多くの皆さんにご紹介すること、おもちゃの歴史や昔の遊びを伝えること、自ら触れて楽しむこと、こうしたことを感じていただければと思っております。

今後も、「わらべ館」が多くの皆様に愛されるおもちゃの拠点施設として、職員一同頑張っておりまので、どうぞよろしくお願ひします。

令和2年3月吉日

目 次

ごあいさつ

展示資料口絵	1
◆おもちゃと遊びの企画展・ミニ展示・特別展	
平成30年度収蔵資料展	5
バウハウスのおもちゃと100年デザイン	8
あえて「昭和」のボードゲーム展	12
〈ミニ展示〉あやつり人形エトセトラ	16
いなば人形芝居の旅	19
〈ミニ展示〉学芸講座・学芸ボランティアの紹介展示	30
郷土玩具の十二支 ねずみ賛	33
集めに集めた郷土玩具 旅と土産と思い出と	39
〈特別展〉動きや音を楽しむ 樋口一成 木のおもちゃ展	45
'89鳥取・世界おもちゃ博覧会30周年記念事業	47
◆企画展以外のおもちゃ関連事業の報告・紹介	51
◆わらべ館の今まで（おもちゃ関連のおもな事項を掲載）	55
◆企画展の今まで（一部特別展）	56